

TD06-20RX ご使用上の注意点

TD06-20RX をご使用される際は下記内容をご確認頂き、適正条件下にてご使用ください。

①ブローオフバルブの装着。

TD06 系のシリーズの中でも特に大型で高出力特性となる形状のコンプレッサーホイールを採用しており、アクセルオフ時に発生するバックターボの負荷の影響が大きいため、必ずブローオフバルブを同時装着してバックターボが発生しない状況下でご使用下さい。

※上記の要件を満たす弊社製品 GReddy ブローオフバルブ FV または FV2 のご使用を推奨致します。

②エンジンオイル、冷却に関する注意点。

コンパクトなサイズながら非常に高出力が可能となるため、発生する熱の処理に関して注意が必要となります。ターボ内部の潤滑性・冷却性の確保と、ターボ軸受け部オイル通路でのコーキングやスラッジ堆積による閉塞を予防するため、エンジンオイルは下記の要件を満たすオイルのご使用、及び運用を推奨致します。

- ・耐熱性、酸化安定性に優れた、全化学合成油をご使用下さい。(ベースオイル Gr.IV以上を推奨)
- ・極端な低粘度オイルの使用を避け、適切な粘度グレードのオイルをご使用下さい。(SAE 40 番以上を推奨)
- ・高せん断安定性タイプの粘度指数向上剤を配合したオイルや、粘度指数向上剤を配合していない「ノンポリマー」オイルのご使用を推奨致します。

※上記の要件を満たす弊社製品「GReddy F2 シリーズ」のご使用を推奨致します。

- ・後入れ添加剤の使用はオイルの性能バランスを崩す可能性があり、種類によってはオイルのゲル化・スラッジ化を引き起こし、ターボ軸受け部オイル通路の閉塞に繋がる場合がありますので、使用は推奨致しません。
- ・市販のフラッシングオイルを使用時のエンジンフラッシングは推奨致しません。もしフラッシングをする場合は、ご使用されるエンジンオイルの新油を使用時の「とも洗い」を推奨致します。
- ・自動車メーカー指定のオイル交換距離・時期よりも早めのオイル交換を意識し、適時オイル交換の実施をお願い致します。
- ・高速走行後、直ぐにエンジンを停止してしまうと、加熱したターボ軸受け部のオイルの流れが止まり、オイルが超高温に曝される事によるコーキング(炭化)を促進させる可能性がありますので、クーリングランやアフターアイドルによる適切なクールダウンの実施をお願い致します。
- ・また、サーキット走行等、より過酷な走行条件でご使用される場合はエアダクトを設置してターボ本体を直接冷却する事をお勧め致します。